

あそびは学び ～ダンボールと遊ぶ中で～



預かり保育でも子どもたちの楽しいを膨らませるように、夢中になって遊べる環境を用意しています。保護者の方にいただいたダンボールを使い、机やビー玉転がしを作ったり、色を塗ってみたり・・・子どもたちは考えたり工夫しながら「こうしてみよう」「どうなるかな?」と何度も繰り返し試しながら遊んでいました。廃材は既製品のおもちゃとは違い、切ったり貼ったり形を変化させ、あそび方を何通りも創り出すことができます。楽しさも無限に広がります。また考えたり工夫したりして遊ぶことで、小学校以降の学びに向かう力の土台を培います。「できる」ということも大切ですが、「何かやりたくなる」ような意欲や心情を大切にしたい保育をしていきたいと思います。



「せんせい～いっしょにしよう」



友だちと協力して遊んでいる姿

考えたり工夫して
遊ぶことで

協同性
言葉による伝え合い
豊かな感性と表現

学習の土台になる



「ここをくっつけてみよう」